

みうらトーク&トーク 第8弾

日 時 平成18年12月18日（月） 14時00分から15時00分

場 所 三崎警察署会議室

参加者 市民8名 三崎警察署2名
市側5名

テーマ 交通安全について

内 容



（1）資料に基づき事故発生状況及び取組みについて説明（市民協働室）

（2）意見交換

市 民 交通安全キャンペーンというと主流の団体が参加しています。

市長が会長をしている交通安全対策協議会があります。交通事故防止というのは、市民全員が思っていることだと思うので対策協議会でも総会のほかにも活動を行ってほしい。

市 長 対策協議会として、市民まつりなどのイベントがあるのでその際に参加するような仕組みにしていきたい。

市 民 また、イベントのほかに構成委員の中かで小委員会をつくって会議の中で意見交換の場を開くということもいいと思います。

市 長 現在、市内の事故が前年より増加しています。三崎警察署とも協議して小委員会を設置していくよう検討していきたいと思っています。

市 長 今日は、ハード面での担当がいませんが、道路を補修して欲しいという要望が年間 800 件ちかくあります。予算に限りがあるので全部は対応できませんが、直営班があり直営で対応出来るところは行なっています。

市 民 沓形から初声小学校に抜ける道ですが、工事の要望を出しているがいつ頃になりますか。

市 長 スケジュールに入っています。道路拡幅などを行なう予定です。他の工事についても都市部の方でも考えていますが、市の方でもやりたいのに出来ないというジレンマに陥っているので当初予算で出来るだけ工事が出来るように検討しています。

市 民 朝の三崎口駅構内についてどうにかならないか。

市 長 そこは、京浜急行や三崎警察署からも整備依頼の話が来ているので検討していきたいと考えています。

市 民 ちょっと前は、三崎口駅周辺の駐車場を借りていた人が多かったが、景気のせいか送り迎えの人が多くなっているような気がします。

市 民 家族をおろしている時に車をぶついたりしているのを見たことがあります。

警 察 バスと一般車が別れているが、混乱するケースもあります。

市 長 今回、交通指導員の方が出席していただいています。ドライバーのマナーについて何か感じていることはありますか。

市 民 運転中の携帯電話ですが、法で改正された時は良くなったが、また悪くなっています。シートベルトも同じように感じます。

携帯電話は、市の職員も運転中に使用しているところを見たことがあります。

市 長 職員には、携帯電話も含めそのようなことがないようにさせます。

緊急の電話の時は、止まって電話するようにするように指示します。

署 長 止まって携帯電話を使用する場合には、中途半端な場所だと逆に危ないし、事故や渋滞になる可能性がある。ある程度幅員や交通量を考えて安全場所に止めてもらいたい。

市 民 右折、左折の時に間際になってウィンカーを出す人がいて危ないと思います。

市 民 歩行者の安全についても考えて欲しい。ドブの蓋（コンクリート）の端がかけていて歩行者がつまずいて転んだ人がいた。

そのあと市の方に依頼し蓋を直してもらったことがあるが、つまずいた人が車道側に転んでしまうととても危ない。

予算の関係もあり一度に直すのは大変ですから、たとえば５年とか１０年の計画で老朽化している蓋を直して欲しいと思います。

市 長 国の歩道整備予算を使うのに歩行道路を一段高くすると歩行道路として機能するということで予算をもらってつくったものがあります。国の予算をもらったのでやたらにいじれないみたいですが、子どもがころんだりしてあぶない。何年かけて整備したいと考えています。

市 民 そのほかに、他県ですが、交通量の激しいところで車道と歩道の境をラインだけでなく色分けしてとても良いと感じたことがありました。

市 長 三浦海岸駅の周辺がバリアフリーのモデルになり整備していく中で人が多いところなどは、カラーポストをするような準備はしています。

市 長 関係団体にキャンペーンに参加してもらっているが、実際にやったから何になるのかと言う意見もあります。私も毎月１日に小学校の校門で関係機関、団体の方といっしょに登校児童に交通安全の一声をかけているが、いったい何になるのという気持ちもあるが、やはり、やること自体が大事なことだと思います。

ただ、それによって事故が減った効果というのは、見えにくいがみなさんが参加していくことが大事だと思います。

市 民 私達の団体は、交通安全キャンペーンを２０年くらい前から独自に行なってきました。啓発グッズを海南神社でお祓いし配っていました。

少し前に団体から誘いをもらい、現在は、その団体とキャンペーンを行なっています。

市 長 警察で交通安全多発区間などに設置する看板の予算はありますか。

署 長 現時点での予算はありませんが、検討中です。

市 民 交通安全協会や交通安全対策協議会などで設置している。

市 長 警察官が立っている看板も効果があつてよいと思います。

市 民 回転灯なども効果があると思います。

市 民 運転手に運転に気を付けろといいますが、歩行者にも気を付けてもらわないとい
けないと思います。小学生は、ある程度守りますが、中学生は、いってもなかなか
聞いてもらってえない場合があります。

警 察 小学生対象には、交通安全教室を行なっています。

市 長 中学生に交通安全教室でマナーを教えるのは、なかなか難しい。

署 長 たとえば薬物乱用と交通安全と併せて話す方法もあると思います。

市 民 最近、登下校時にスクールガードを行なっている方々をよく見かけます。

市 長 大変ありがたいことで、現在、スクールガードは、300人近くの方が行なつて
いただいています。

子どもがさらわれるなど悲惨の事故が多かったので、交通安全ではなく、防犯対
策という視点から、一生懸命行なってもらっています。

警 察 当署管内は、昨年に比べると事故が増加していますが、現在、交通安全協会を初
め関係団体にご協力をいただき事故防止対策を行なっています。交通事故件数は1
1月末現在では、前年比20件の増でしたが、昨日現在では、4件の増までに減少
しました。一定の効果が出たものだと考えています。

市 長 飲酒運転についても、今まで車を平気で乗っていた人も乗らなくなってきていま
す。しかし、まだ飲酒による事故は、起きており公務員の飲酒事故なども起きてい
ます。

三浦市では、何年か前に飲酒事故があり厳罰な処置を決めていました。

今でも交通事故を起こしてしまった職員については、処分を行なっています。

市 長 本日は、お忙しい中貴重な意見をありがとうございました。最後に本日出席いただいている三崎警察署長さんよりお願いいたします。

署 長 私は、生活安全部門出身なので防犯関係ではいろいろと市民の方と話をしてきた経験がありますが、交通安全関係で、このように話をするのは始めてです。

防犯も交通安全も結局は同じだと思います。心構えでいかようにも対応できると思うからです。

ただ、いくら皆さんが啓発活動を行っても市民のひとり一人がそれを感じないと何にもならないと思います。

キャンペーンなどの啓発活動を行っていくなかで、辛い、むなしいということもあると思いますが、地道に長く行なっていくことが大切だと思います。今後とも協力をお願いいたします。

事務局 これでトーク＆トークを終了します。